

本試験によく出る！第6類消防設備士問題集（大改訂版）お詫びと訂正

本書の掲載内容に下記の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

ページ	箇所	誤	正
	本の全般について	粉上り防止用封板	粉上 り 防止用封板

P59、問題 23 の選択肢（2）

誤	正
(2) B, D	(2) B

P59、問題 23 の選択肢（4）

誤	正
(4) D, E	(4) D

P59、問題 23 の解説を以下のものに差し替えさせていただきます

問題 20 の解説の⑤より、D の非常警報設備のみが正解です（工場、倉庫、図書館等は非特定防火対象物です）

P88、問題 19 の選択肢（1）を機械泡消火器から下記の内容に差し替えさせていただきます

(1) 強化液消火器(霧状)

P171 設問 6 問題文を以下のものに差し替えさせていただきます

H 以外の消火器の最大使用温度範囲(有効使用温度)を答えなさい。

P171 設問 6 解答

誤	正
F, H : -30℃～40℃	F : -30℃～40℃

P172 設問 7 問題文を以下のものに差し替えさせていただきます

事務室、飲食店などの火災に適応する消火器を記号で答えなさい。

P184 設問7 解説 (設問4)

以下のうち、2つを答える→削除

・ガスの容量を確認する。→削除

P194、問題16の解説を以下のものに差し替えさせていただきます

高圧ガス保安法の適用を受ける 100 cm³を超えるB, Cのうち、Bの容器弁付きは再充てんが可能で、Cは、作動封板が付いており、再充てんは不可です。

P194、問題16の解答①

誤	正
B, C	B

P217、問題9の解説2行目と3行目

誤	正
②と③	②

巻末特別付録のp16

問題4の解説、解答を下記のように訂正させていただきます。

【問題 4】

解説

P. 229 の表より、事務室、飲食店は「**建築物その他の工作物**」になるので、普通火災に適応する消火器を選び、**ボイラー室**は油火災に適応する消火器を選び、電気室や**通信機器室**などは電気火災に適応する消火器を選びます（注：強化液消火器は霧状にすると電気火災に適応します）。

解答

- | | |
|---------|--|
| ① 事務室 | : A、B、C、E、F
(二酸化炭素、ハロゲン化物は普通火災に適応しない) |
| ② ボイラー室 | : A、B、C、 D 、E、F |
| ③ 通信機器室 | : A、 D 、E、F
(水系は原則 NG だが強化液は霧状だと適応する。) |
| ④ 飲食店 | : A、B、C、E、F
(二酸化炭素、ハロゲン化物は普通火災に適応しない) |
| ⑤ 電気室 | : A、 D 、E、F
(水系は原則 NG だが強化液は霧状だと適応する。) |